

お子さまと保護者の方へ

新型コロナウイルスワクチン コミナティを

接種されるお子さまと保護者の方へ



お母さん、お父さん、おうちのひとと一緒に
この説明書を読んで、ワクチンのことを知っておきましょう。
保護者の方へ：保護者の方もお子さまと一緒に5～11歳のお子さま向けページ
(2～5ページおよび裏表紙)をご確認ください。

対象年齢	生後6ヵ月～11歳
対象ワクチン (以下、本ワクチン)	・コミナティRTU筋注5～11歳用1人用 (以下、オミクロン株(JN.1)対応ワクチン(5～11歳用)) ・コミナティ筋注6ヵ月～4歳用3人用 (以下、オミクロン株(JN.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用))

こちらのご案内は**生後6ヵ月～11歳の方**に向けたオミクロン株(JN.1)対応ワクチンの情報をまとめています。

12歳以上の方に関する情報は、「コミナティを接種される方とそのご家族へ」をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の予防や副反応について得られている情報は限られています。本ワクチンの接種を受ける前に、接種担当の医師等から本ワクチンの説明を受けてください。

※：5～11歳のお子さまを対象とした情報は**水色**を、生後6ヵ月～4歳のお子さまを対象とした情報は**黄色**を基調として作成し、色調で対象年齢を判別できるようにしております。



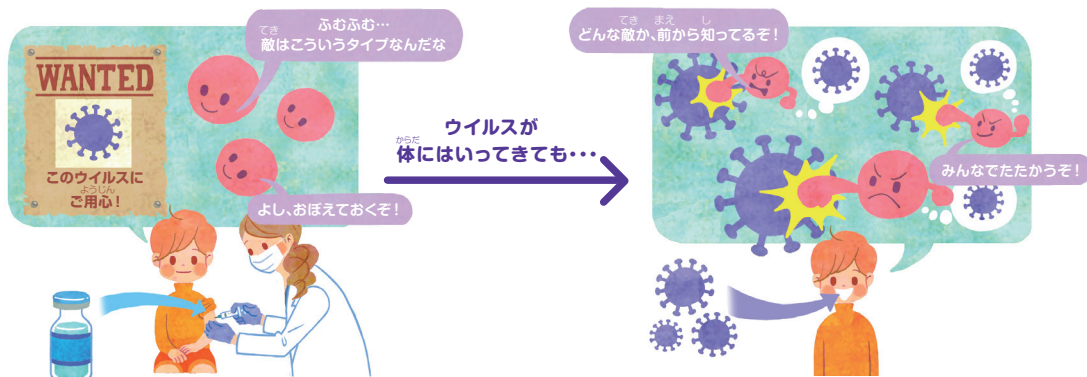
新型コロナウイルスってどんなワクチン？

どうして新型コロナウイルスを受けるの？

新型コロナウイルスを受けることで、ウイルスが体にはいつても新型コロナウイルスの症状が出にくくなります。

新型コロナウイルスにはどんな効果があるの？

もともと私たちの体には、ウイルスがはいつてきたときに、どんな敵かをおぼえておいて、次にはいつてきたら、すぐにたたかうことができる仕組みがあります。新型コロナウイルスはこの仕組みを利用したものです。ワクチンにはウイルスの情報がはいつています。その情報を使って、私たちの体は最初からウイルスがどんな敵かを知っていて、すぐにたたかうことができる仕組みを準備することができます。この仕組みによって、ウイルスが体にはいつてきたとしても新型コロナウイルスの症状が出にくくなります。ウイルスは次第に姿を変えることがあります（変異といいます）が、変異したウイルスの情報がはいつたワクチンを受けることで、同じようにたたかう仕組みを準備することができます。



新型コロナウイルスはいつ受けるの？

- オミクロン株(JN.1)対応ワクチン(5～11歳用)は1回接種です。
5歳以上のみなさんは、通常前回ワクチンを受けた日から少なくとも3カ月あけて、ワクチンを受けることができます。
- 新型コロナウイルスを受けたことがない人は、およそ4週間あけて、2回目のワクチンを受けることができます。

接種するワクチン



オミクロン株(JN.1)対応ワクチン(5～11歳用)

【5～11歳^{さい}のみなさんへ】 新型^{しんがた}コロナワクチンってどんなワクチン？

新型^{しんがた}コロナワクチン^うを受けるとき、どんなこと^きに気をつければいいの？

受^うける前^{まえ}に気^きをつけること

体^{たい}温^{おん}が37.5℃以上あるときは、通常^{じょうじょう}ワクチン^うを受けることはできません。
いつもと体^{からだ}の調子^{ちようし}がちがうと思^{おも}ったら、お母^{かあ}さん、お父^{ちち}さん、周り^{まわ}の大人^{おとな}の人^{ひと}に伝え^{つた}えましょう。



受^うけた後^{あと}に守^{まも}ってほしいこと

しばらくはすわって
ゆっくり待^{まち}つ



ワクチン^うを受けた後^{あと}はすぐにかえ帰^{かえ}らずに、イスにすわってしばらくはゆっくり待^{まち}ちましょう。何か気^きになることがあれば、お母^{かあ}さん、お父^{ちち}さん、周り^{まわ}の大人^{おとな}の人^{ひと}に伝え^{つた}えましょう。

注射^{ちゅうしゃ}した部分^{ぶぶん}は
さわらない



さわったりこすったりしないようにしましょう。お風呂にはいつでもいいですが、ワクチン^{ちゅうしゃ}を注射^{ちゅうしゃ}した部分^{ぶぶん}はゴシゴシ洗^{あら}わないようにしましょう。

ゆっくり過^すごす



ワクチン^うを受けた日^ひはいつでもどおりに過^すごしても大丈夫^{だいじょうぶ}ですが、はげしい運動^{うんどう}はやめましょう。いつもと体^{からだ}の調子^{ちようし}がちがうと思^{おも}ったら、お母^{かあ}さん、お父^{ちち}さん、周り^{まわ}の大人^{おとな}の人^{ひと}に伝え^{つた}えましょう。

ワクチン^うを受けた後^{あと}、手足^{てあし}の先^{さき}がピリピリする、手足^{てあし}に力^{ちから}がはいらないといったことがあれば、お母^{かあ}さん、お父^{ちち}さん、周り^{まわ}の大人^{おとな}の人^{ひと}にすぐ^しに知らせ^{たいせつ}ることが大切です。

4ページと5ページにも気^きをつけてほしいことが書^かいてあります。このページとあわせて読^よんでおきましょう。

【5～11歳^{さい}のみなさんへ】 ワクチン^うを受けた^{あと}後^でに出る^{しょうじょう}かもしれない^{しょうじょう}症状

ワクチン^うを受けると時々、痛みやだるさや熱^{ねつ}のような症状^{しょうじょう}が出ることがあります。
また、重い^{おも}症状^{しょうじょう}が出ることもあります。

受^うけた^{あと}後^でに出る^{おも}かもしれない^{しょうじょう}重い^{しょうじょう}症状

どのくらいの人にこのような症状^{しょうじょう}が出るかはわかりませんが、重い^{おも}症状^{しょうじょう}が出ることがあります。重い^{おも}症状^{しょうじょう}は、ワクチン^うを受けた^{あと}後^ですぐに出るものと、すぐには出ないものがあります。

● すぐ^でに出るもの(アナフィラキシーといいます)

- ☐ ひふのかゆみ^{あか}、赤^{あか}み、赤いぶつぶつ など
- ☐ おなかの痛み^{いた}、吐^はき気^け、気持^きちが悪^{わる}い など
- ☐ 目^めがみえにくい
- ☐ せき、のどのかゆみ^{いき}、息^{いき}がしにくい など
- ☐ ふらふらする、体^{からだ}に力^{ちから}がはいらない など

症状^{しょうじょう}が出る場合、受^うけた^{あと}後^で30分以内^{ふん い ない}が多い^{おお}といわれていて、受^うけて^ですぐに出ることもあります。注射^{ちゅうしゃ}した^{あと}後^ではすぐには帰^{かえ}らずに、ワクチン^うを受けた^{びょういん}病院^うなどでしばらくゆっくりしましょう。

● すぐ^でには出ないもの(心筋炎^{しんきんえん}、心膜炎^{しんまくえん}といいます)

- ☐ むねがズキズキする・ドキドキする、手足^{て あし}や顔^{かお}がぷっくりする、
体^{からだ}が重^{おも}い・だるい、息^{いき}がしにくい、ゼーゼーする、ハアハアする

【5～11歳^{さい}のみなさんへ】 ワクチン^うを受けた^{あと}後^でに出る^{しょうじょう}かもしれない症状

受^うけた^{あと}後^でに出る^{しょうじょう}かもしれない症状

ワクチン^うを受けた^{ひと}人の20人^{にん}に1人^{ひとり}以上^{い じょう}に、次^{つぎ}のような^{しょうじょう}症状^でが出るといわれています。

- ☐ ワクチン^{ちゅうしゃ}を注射^{ぶ ぶん}した部分^{いた}の痛み^{あか}、赤^{あか}み、はれ
- ☐ 頭^{あたま}が痛い^{いた}
- ☐ げり^{からだ}（おなかがごろごろする）
- ☐ 体^{からだ}が痛い^{いた}
- ☐ 体^{からだ}が重い^{おも}・だるい^{さむけ}、寒^{さむけ}気がする（ゾクゾクする）^{ねつ}、熱^でが出る

「ワクチン^{ちゅうしゃ}を注射^{ぶ ぶん}した部分^{いた}の痛み^で」が出る^{ば あい}場合^{ば あい}、
ワクチン^うを受けた^ひ日^{いた}に痛み^でが出て、その痛み^{いた}は2日間^{ふつか かん}くらい^{つづ}続く^{おお}ことが多いといわれています。
そのほか^{しょうじょう}の症状^{すうじつ}も、数日^{すうじつ}でよくなるといわれています。



4ページと5ページに書いてあるような^{しょうじょう}症状^でが出たら、

すぐ^{まわ}に周^{おとな}りの大^{ひと}人^しの人に知らせ^しましょう。

ほか^{からだ}にも、体^{ちよう}の調^し子^なに何^きか気^{かあ}になることがあ^{かあ}ったら、お母^{かあ}さん、
お父^{とう}さん、周^{まわ}りの大^{おとな}人^{ひと}の人にすぐ^しに知らせ^{たい}ることが大切^{せつ}です。

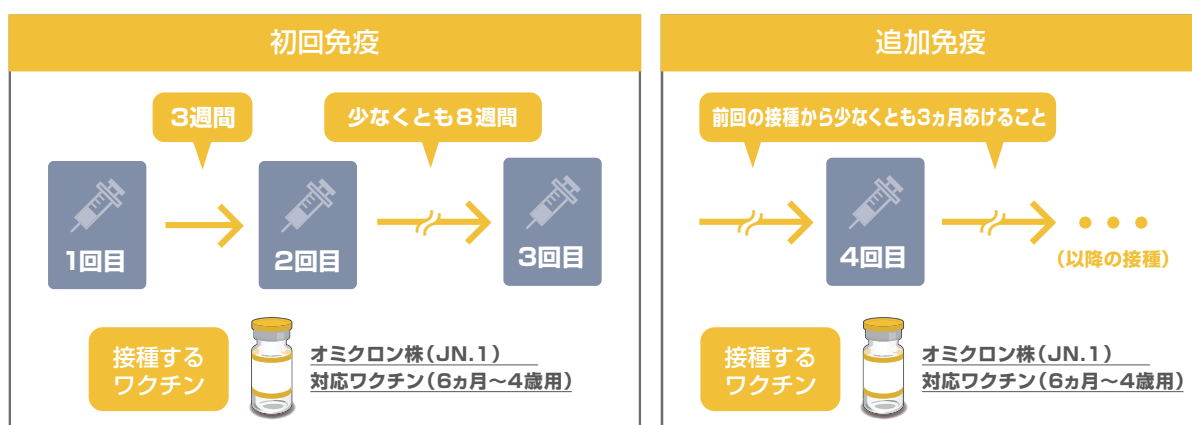
生後6ヵ月～4歳のお子さまの保護者の方へ

接種回数とスケジュール

生後6ヵ月～4歳のお子さまは初回免疫として新型コロナワクチンを**3回接種する必要があります**。
1回目の接種後、通常3週間の間隔で2回目の接種を、その後少なくとも8週間経過した後、3回目の接種を受ける必要があります。

1回目の接種から3週間、2回目の接種から8週間を超えた場合には、できる限り速やかに次の接種を受けるようにしてください。

4回目以降は、前回ワクチンを受けた日から少なくとも3ヵ月あけて、次のワクチンを受けます。初回免疫(1、2、3回目)および追加免疫(4回目以降)のワクチン接種では、オミクロン株(JN.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用)の接種を受けることができます。



安全性(副反応)について

ワクチン接種後(特に、接種直後～数日間)はお子さまの体調に注意しましょう。

下記のような症状や、いつもと違う体調の変化や異常があれば、接種を受けた医療機関等の施設の医師、看護師またはかかりつけ医へ相談してください。

起こるかもしれない重い症状 (頻度不明)

● ショック、アナフィラキシー

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内に以下の症状があらわれた場合、ショック、アナフィラキシーの疑いがあります。

- ☐ 皮膚症状: 皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑、皮膚の発赤 など
- ☐ 消化器症状: 腹痛、吐き気 など
- ☐ 視覚症状: 視覚の異常
- ☐ 呼吸器症状: 声のかすれ、くしゃみ、せき、のどのかゆみ、息苦しい など
- ☐ ショック症状: 蒼白、意識混濁 など

生後6ヵ月～4歳のお子さまの保護者の方へ

本ワクチンの接種を受けた後しばらくの間は、接種を受けた医療機関等の施設でお待ちいただき、これらの症状が認められた場合には、**ただちに**、接種を受けた医療機関等の施設の医師、看護師またはかかりつけ医へ相談してください。

心筋炎、心膜炎

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、心筋炎、心膜炎の疑いがあります。

☐ **症状:** 胸の痛み、動悸、むくみ、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い

これらの症状が認められた場合には、**速やかに**医師の診察を受けてください。

起こるかもしれない体の症状（接種を受けた方の5%以上に起こったもの）

生後6ヵ月～4歳のお子さまは、ワクチンを受けた後、次のような症状が出るといわれています。5～11歳のお子さまとは症状の訴え方が異なりますので、ご注意ください。

- ☐ 注射した部位の痛み、腫れ、発赤・紅斑
- ☐ 眠気、頭痛、イライラ
- ☐ 食欲衰退、下痢、嘔吐
- ☐ 筋肉痛
- ☐ 疲労、発熱、悪寒

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

注射した部位の痛みの多くは接種当日にあらわれ、持続期間は約1日でした。

その他の症状の多くは接種翌日～5日ほどであらわれ、持続期間は約2日でした。

これらの症状は、通常、数日以内に治まります。なお、病気治療中の方で解熱消炎鎮痛剤などを使用される場合は、かかりつけ医・薬剤師に服用についてご相談ください。また、ひどい痛み・腫れ、高熱など重い症状と思われる場合は、医師の診察を受けてください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチン接種にあたっての注意点

5～11歳 のお子さまと、生後6ヵ月～4歳 のお子さまでは、**接種回数やスケジュールなどが異なりますので、ご注意ください。**

(各年齢ごとの接種回数とスケジュールは2ページ、6ページに記載しておりますので、併せてご確認ください。)

- 原則として、生後6ヵ月～4歳の方は、1回目に接種したワクチンと同じワクチンを2回目および3回目も接種してください(例:1回目にオミクロン株(JN.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用)を接種した場合は、2回目および3回目もオミクロン株(JN.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用)を接種)。
- 1回の接種における有効成分の含量は、5～11歳のお子さまは12歳以上の方の3分の1、生後6ヵ月～4歳のお子さまは12歳以上の方の10分の1です。
- 5～11歳のお子さまと生後6ヵ月～4歳のお子さまは、定期接種*の対象ではなく任意接種となります。
(*定期接種:予防接種法に基づき、国や自治体が主体となって行う接種。)
- 過去に他社の新型コロナワクチンを接種した方が、本ワクチンを接種した際の有効性・安全性はわかっていません。

本ワクチンの接種が受けられないお子さま

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。

該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ① 明らかに発熱している方
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある方
- ④ 上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチンの接種にあたって注意が必要となるお子さま

下記にあてはまる方は、本ワクチンの接種について注意が必要です。
該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ① 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ② 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た方
- ⑤ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑥ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑦ 腎機能障害のある方
- ⑧ 肝機能障害のある方

生後6カ月未満の方に対する有効性・安全性はわかりません。

保護者の方のワクチン接種のご検討のお願い

- 新型コロナワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が臨床試験で確認されています。
- ワクチン接種後においても、基本的な感染予防対策※を必要に応じて行うことを、お子さまへもお伝えください。

※具体例は本資料の裏表紙に記載していますので、ご確認ください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

保護者の同意について

お子さまの本ワクチン接種に際しては、**保護者の方の同意・立ち会いが必要**です。予診の際に本ワクチンの有効性・安全性、本ワクチン接種後の副反応および医薬品副作用被害救済制度について説明を受けた後に、接種の実施について文書(予診票)による同意が必要となります。

なお、本ワクチンと**他の定期接種のワクチンとの接種間隔**などについては**医師へご相談**ください。小児の予防接種記録は母子健康手帳で管理しているため、接種の際には**母子健康手帳の持参**をお願いします。

本ワクチン接種の前に気をつけること

下記の点へのご対応をお願いします。

- ☐ お子さまに基礎疾患があるなど本ワクチン接種についての疑問や不安があったら、接種医やかかりつけ医に納得がいくまで質問する
- ☐ 体温測定やその他、お子さまの体調に変化がないかどうか確認する
- ☐ アレルギー疾患や他の医薬品でアレルギー反応の経験がある、食物アレルギーがある場合は、「何」に対して「どのような」症状が出たのかを伝える
- ☐ お子さまが普段から注射針や痛みに対して不安感が強いかどうかを伝える
- ☐ お子さまが今回のワクチン接種に不安を覚えていたり緊張しているかどうかを伝える

立ち会いに際してのお願い

適宜、お子さまへ声掛けを行い、お子さまが注射針をみないようにするなど、不安や緊張を和らげるような対応をお願いします。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチン接種の後に気をつけること

本ワクチン接種後(特に、接種直後～数日間)はお子さまの体調に変化がないか注意してください。
3～7ページや、下記に示す症状や訴えがないか、お子さまの様子を観察をお願いします。

本ワクチン接種直後の注意点

- 血管迷走神経反射による失神があらわれる場合があります。以前に、採血やワクチン接種の時に気分が悪くなったことのあるお子さまは要注意です。冷や汗をかく、落ち着きがなくなる、ムカムカする、寒気がする、顔色が悪くなる、目の前が真っ白または真っ黒になる、聞こえづらくなる、意識が朦朧とする・なくなるなどの症状が出ていないか、お子さまの様子を観察をお願いします。症状が認められた場合には、慌てずに、頭などを打たないよう体を支え、**お子さまの体を横にして**安静にしてください。
- 「アナフィラキシー」は、**ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内**にあらわれることがあります。何かあった場合にすぐに対応できるよう、医療機関等の施設内にお子さまと一緒にいて、お子さまの様子を観察をお願いします。
- 「アナフィラキシー」の可能性のある症状(6ページ参照)が認められる、またはお子さまからそのような症状の訴えがあった場合は、**速やかに医師や看護師等に伝えて診察を受けて**ください。

本ワクチン接種を受けた後の注意点

- 本ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、心筋炎、心膜炎の疑いがあります。

心筋炎・心膜炎の症状

胸の痛み、動悸、むくみ、倦怠感、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い

これらの症状がお子さまに認められる、またはお子さまからこれらの症状の訴えがあった場合には、**速やかに医師の診察を受けて**ください。

- 本ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、ギラン・バレー症候群の疑いがあります。

ギラン・バレー症候群の症状

歩行時につまずく、階段を昇れない、手足(特に足)に力が入らない、物がつかみにくい、手足がしびれる、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉が麻痺する、食べ物や飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど

これらの症状がお子さまに認められる、またはお子さまからこれらの症状の訴えがあった場合には、**ただちに医師等にご相談**ください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチン接種の後に気をつけること

本ワクチン接種を受けた後の過ごし方

- 本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスク着用、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケット等）を必要に応じて行ってください。ただし、過度な対策がかえってお子さまの心身の健康を損ねることがないように配慮してください。
- 注射した部位は清潔に保つようにしましょう。
- 接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部位はこすらないようにしましょう。
ただし、ワクチンを接種した当日を含め、ワクチン接種後に体調が悪い時は、入浴を控えることも検討してください。
- 接種当日の激しい運動は控えましょう。

ワクチン接種後に重い健康被害が生じた場合の救済制度について

ワクチンの接種によって、副反応が起きることがあります。気になる症状、いつもと違う体調の変化が認められた場合には、速やかに医師等にご相談ください。

2024年3月31日までの特例臨時接種枠で接種した方に健康被害が生じた場合は、予防接種健康被害救済制度が適用となります。

また、2024年4月1日以降にワクチンの接種による健康被害が生じた場合には、国による医薬品副作用被害救済制度がございますので、医薬品医療機器総合機構にご相談ください。

※救済制度については、17ページの「よくある質問」のQ18もご参照ください。

よくある質問

ワクチンの効果と仕組み

Q1. ワクチンの効果はどのくらいありますか？

A1

本ワクチンは、5～11歳の小児において、オミクロン株(JN.1)に対し、中和抗体価の上昇や発症予防効果が期待されています。

また、生後6ヵ月～4歳の乳幼児においても、オミクロン株(JN.1)に対し、中和抗体価の上昇や発症予防効果が期待されています。

本ワクチンの臨床試験は国内外で実施中または計画中であり、最新情報は、厚生労働省(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html)、日本小児科学会のホームページ(<https://www.jpeds.or.jp/>)をご確認ください。

Q2. オミクロン株(JN.1)対応ワクチンとは何ですか？

A2

新型コロナウイルス変異株である、オミクロン株(JN.1)に対応したワクチンです。オミクロン株(JN.1)のヒトへの感染に関わるタンパク質のメッセンジャーRNA(mRNA)が含まれており、オミクロン株(JN.1)に対する一定の発症予防効果が期待されています。

Q3. なぜ生後6ヵ月～4歳の初回免疫では、3回の接種が必要なのですか？

A3

生後6ヵ月～4歳の乳幼児に対する本ワクチンの初回免疫3回目の接種から1ヵ月後の新型コロナウイルスに対する中和抗体価は、16～25歳へのワクチン接種と同様という試験結果より、合計3回接種の用法で薬事承認がなされています。

中和抗体：ウイルスの感染力または毒素の活性を中和できる抗体

ワクチンの安全性と副反応

Q4. ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝情報を体に投与すると、将来の身体への異変は心配ありませんか？

A4

メッセンジャーRNA(mRNA)は、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていきます。また、mRNAは、人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。体の中で、DNAからmRNAが作られる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAは作られません。こうしたことから、mRNAを注射することで、その情報が長期に残ったり、遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

よくある質問

Q5. ワクチン接種を受ける前や受けた後に気をつけることは？

A5

接種を受ける前

原則としてワクチン接種は体調が良い時に受けましょう。いつもと様子や体調が違う、何となく調子が悪いという時、また、医薬品でアレルギー反応の経験のある方、食物アレルギーやアレルギー疾患のある方、予防接種そのものに対して緊張する方、注射針や痛みに対して不安がある方は必ず医師に相談しましょう。

接種を受けた後

まれにワクチン接種に対する緊張や痛みをきっかけに気を失う(失神する)ことがあります。ワクチン接種後は背もたれのある椅子にしばらく座るなどして休みましょう。特に緊張の強いお子さま、以前に採血やワクチン接種の際に気分が悪くなったことのあるお子さまは、事前に接種医にご相談ください。

また、ワクチンの接種により**ショック**や**アナフィラキシー**などの重いアレルギー反応が起きることがあります。他の医薬品でアレルギー反応の経験のある方や、食物アレルギーやアレルギー疾患のある方は接種に際して慎重な観察が必要です。医師に相談の上、しばらくの間は接種を受けた医療機関等の施設内にいるようにしましょう。医療機関等の施設内にいることですぐに対応できます。

なお、接種後に**心筋炎**や**心膜炎**があらわれることがあります。心筋炎、心膜炎が疑われる症状(胸の痛み、動悸、むくみ、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い)が認められる場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

Q6. 新型コロナウイルスmRNAワクチン接種後に報告されている ギラン・バレー症候群では、どのような症状が認められますか？ また、症状を認めた場合は、どうすればいいですか？

A6

ギラン・バレー症候群では、歩行時につまずく、階段を昇れない、手足(特に足)に力が入らない、物がつかみにくい、手足がしびれる、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉が麻痺する、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなどの症状があらわれます。ギラン・バレー症候群は、初期には軽症と考えられても急速に悪化することがあります。ギラン・バレー症候群が疑われる症状が認められた場合には、早い段階で医師等に相談するようにしてください。その際、本ワクチンを接種したことやいつ接種したのかなどを伝えるようにしてください。

よくある質問

Q7. ワクチン接種後に発熱しました。どのように対応したらいいのでしょうか？

A7

ワクチン接種後の発熱に対しては、日本小児科学会より、成人の場合と同様に発熱の程度に応じて解熱消炎鎮痛剤を使用することが示されています。ただし、小児には推奨されない解熱消炎鎮痛剤もありますので注意してください。ご不安な場合は、かかりつけ医にご相談ください。

ワクチンの接種対象

Q8. 過去に他のワクチンや医薬品、食品、化粧品に対してアレルギー反応があったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A8

予診票にアレルギーの情報(何に対してどのような症状が出たのか)をできる限り記載の上、事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日、医師にご相談ください。

Q9. 生後6ヵ月未満でも本ワクチンを接種できますか？

A9

本ワクチンの接種対象は生後6ヵ月以上の方です。なお、生後6ヵ月未満の方に対する有効性・安全性はわかりません。

Q10. 過去に熱性けいれんを起こしたことがあったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A10

本ワクチンは、熱性けいれんを起こしたことのある方は接種要注意者になります。事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日、医師にご相談ください。

よくある質問

接種を受ける方法

Q11. 生後6ヵ月～4歳で、初回接種の規定の回数を終える前に、対象年齢を超えて誕生日を迎えました。どうしたらよいのでしょうか？

A11

初回接種の規定の回数を終える前に途中で対象年齢を超えて誕生日を迎えた場合であっても、原則として同じワクチンを接種する必要があります。生後6ヵ月～4歳を対象としたファイザー社のオミクロン株対応1価ワクチン(JN.1)の初回接種は合計3回で1セットであり、途中で5歳の誕生日を迎えた場合も、3回目までの接種は同じ生後6ヵ月～4歳用のワクチンを接種します。

(参考)厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」(2024年3月時点):

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa_archive.html#infant_8

Q12. 生後6ヵ月～4歳で、本ワクチン接種の2回目と3回目の間隔が、8週間以上空いてしまった場合は、どのようにすればいいですか？

A12

できる限り速やかに3回目の接種を受けてください。

Q13. 生後6ヵ月～4歳で、2回目接種から8週間経過する前に3回目の接種を受けてもいいですか？

A13

生後6ヵ月～4歳のお子さまは、2回目の接種から少なくとも8週間経過した後に、3回目の接種を受けてください。

Q14. 新型コロナワクチンと、他のワクチンの接種を同時に受けることはできますか？

A14

新型コロナワクチンと他のワクチンとの同時接種については、特に医師が必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

(参考)厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html#4

よくある質問

その他

Q15. ワクチン接種時に必要なものはありますか？

A15

お子さまのワクチン接種では、原則、保護者の同伴が必要となります。また、お子さまの接種履歴は母子健康手帳で管理しているため、接種当日は可能な限り、母子健康手帳の持参をお願いします。

特に小さいお子さまは不安から怖がって接種を拒んだり、泣いたりすることが予想されます。可能であれば気を紛らわすようなお気に入りのおもちゃや絵本などの持参をお願いします。

Q16. 新型コロナワクチンの接種を受ければ、感染予防対策はしなくていいですか？

A16

本ワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。

本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスク着用、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケット等）を必要に応じて行なってください。ただし、過度な対策がかえってお子さまの心身の健康を損ねることがないように配慮してください。

厚生労働省のマスク着用の考え方 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html) では、就学前のお子さまについて、2歳未満のお子さまのマスク着用は推奨されていません。2歳以上の就学前のお子さまについても、マスクの着用は一律には求められておりません。マスクを着用する場合は、お子さまの体調に十分注意した上で着用してください。

Q17. 小児や乳幼児で、ワクチンを接種する部位は変わりますか？

A17

1歳未満のお子さまは、太もも外側に接種します。1～2歳のお子さまは、太もも外側もしくは肩（三角筋）に接種します。3歳以上のお子さまは、肩（三角筋）に接種します。ただし、明らかに筋肉量が少ない場合などは、年齢に関係なく太もも外側に接種することもあります。

Q18. 接種後に重い健康被害が生じた場合はどうすればよいのでしょうか？

A18

予防接種による健康被害が生じた場合、公的な救済制度が受けられる可能性があります。詳しくは接種を受けた医療機関、またはお住いの市町村に相談してみてください。救済制度については、下記のサイトもご参照ください。

厚生労働省「予防接種健康被害救済制度について」:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkouhigaikyusai.html

本ワクチンに関するさらなる情報について

ワクチン接種の考え方について

新型コロナウイルスは変異を繰り返しており、それに伴い重症化率やワクチンの予防効果などにも変化が生じています。小児における最新情報は厚生労働省、日本小児科学会のホームページをご確認ください。

厚生労働省「新型コロナワクチンについて」:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

日本小児科学会:

<https://www.jpeds.or.jp/>

情報提供サイトのご案内

本ワクチンに関する情報について、「ファイザー新型コロナワクチンの接種を受ける方とご家族や保護者の方々のためのサイト」にて公開しております。

同サイトでは、12歳以上の方に関する情報をまとめた「コミナティを接種される方とご家族へ」もご覧いただくことができます。



左の二次元コードもしくは
下記URLよりアクセスし、ご参照ください。

<https://www.pfizer-covid19-vaccinated.jp>

MEMO

ワクチンを受けた後も守ってほしいこと



新型^{しんがた}コロナワクチン^うを受けることで、ウイルスが体^{からだ}にはいつてきても

新型^{しんがた}コロナ^{しょうじょう}の症状^でが出^でにくくなりますが、

絶対^{ぜったい}にウイルスが体^{からだ}にはいつてこなくなるというわけではありません。

ワクチン^うを受けた後も^{あと}、必要^{ひつよう}に応じて^{おう}、以下^{い か}の点^{てん}を心^{こころ}がけながら過^すごすことが大切^{たいせつ}です。

3つの密^{ちゅう い}(みつ)に注意

人と^{ひと}人との距離^{きょり}が近い^{ちか}(みっせつ)



人がたくさんいる場所^{ひと}
(みっしゅう)



出入り口や窓が^{で い くち まど}
閉まった場所^し
(みっぺい)

新型コロナにかからない・ うつさないためにできること

手洗い・うがい^{て あら}



マスクを着ける^つ



体調が悪いときは^{たいちょう}
外出・登校しない^{わる}
(がいしゅつ どう こう)

BIONTECH

Pfizer

製造販売元：ファイザー株式会社

新型コロナウイルスワクチン コミナティは、ビオンテック独自のmRNA技術を基にビオンテックとファイザーにより共同開発された
修飾ヌクレオシドmRNAワクチンです。